

●平成 29 年度 JCOMM デザイン賞

大和市における健康モビリティ・マネジメント・ツールキット「日々の足から健康習慣」

大 和 市
片 桐 暁
齋 藤 綾
中 原 慎 二
筑波大学公共心理研究室

神奈川県大和市では、保健福祉部署である健康づくり推進課、保険年金課、都市交通に関連した街づくり総務課、職員に関連した人財課が連携し、健康づくりにフォーカスしたモビリティ・マネジメントを 2014 年度～2017 年度にかけて推進している。プロジェクト名は「日々の足から健康習慣」であり、(1)大和市職員(職員 MM) と(2)国民健康保険の特定保健指導教室参加者(国保 MM)を対象としている。

このプロジェクトで開発した MM ツールキットは、大和市のテーマカラーである若みどりを基調とし、健康にフォーカスした様々な情報をテキストやデザインを吟味して作成した動機付け冊子、行動プラン票や体重・歩数記録用紙などで構成されている。全てに「徒歩の増進」をイメージした「スニーカー」のロゴマークをつけ、ブランド化を図った。また、健康にフォーカスした様々な情報・ツール(大和市まちあるき冊子、身体活動量計、夜間歩行用リフレクタ等)を、レイアウトや意匠で読みやすく、使いやすく、美しいデザインに整えることを志すとともに、全ての文章をコピーライターが監修し、文言の言い回しや改行位置にまで気を配った完成度の高さが特徴である。これらのツールキットは他都市にも容易に応用できるものと考えられる。

これらのツールキットを 2015 年秋に対象者へ配付し、交通行動変容ならびに健康指標の改善を要請した結果、職員 MM ではクルマ通勤者の約 2 割が通勤手段を変更する効果が得られた他、国保 MM では BMI や体重、最低血圧、中性脂肪が減少する効果が得られた。効果分析は現在も継続しており、2017 年度に終了予定である。

—JCOMM 実行委員会から—

健康づくりを目的にした MM のキットで、テーマにあった配色やイラストなど意匠的にもよく練られており、ツールの統一感が醸成されています。また、記録シートの工夫など機能的にも高く評価されました。これから多くの地域で展開が期待される健康 MM において、このツールキットは一つの模範的なデザインを提供しており、実務的活用可能性が極めて高く、JCOMM デザイン賞として選定されました。